

# 同志社 東京 ジャーナル



## INDEX

東京校友会120周年記念祭 2017同志社東京・春の集い  
総括レポート  
ビジョン2025を語る／松岡敬学長  
講演レポート／佐藤優さん  
有志コンサート  
春の集いを振り返って／2018実行委員長の抱負

八田英二新総長・理事長からのメッセージ

同窓会東京支部 120 周年総会

東京校友会はじめて物語／会費徴収・通信費制度創設

片桐家同志社五代記(二十一)・連載コラム 今出川四季

校友訪問／帝国ホテルエンタープライズ 大脇善夫さん

同志社スポーツ／第100回同慶ラグビー定期戦

同志社ファッション倶楽部・洛紫会

神田祭・すみれ亭句会

## 同志社東京校友会

## 同志社東京校友会120周年記念祭

2017同志社東京・春の集い

統括  
レポート!

# みんなにありがとう 未来 一歩前へ

今年の「春の集い」は、1897年（明治30年）に校友会東京支部が発足して120周年を迎えるため、「120周年記念祭」として企画され、記念行事として「テーマ別イベント」が実施されました。

レポート／実行委員長 阪口章夫（73年・商）

### 「テーマ別イベント」

受付開始の11時から、待ちわびた校友が続々と集まってきました。ここから「テーマ別イベント」の始まりです。11時30分には首都圏で活動する校友向けの「ビジネスパーソン大名刺交換会」がスタート。

また、校友の皆様から頂いた物品の販売の準備が整う間もなく奨学金と熊本支援のための

「募金バザール」が始まり、ほどなく完売。6万5千円程の募金となりました。

一方、関東・甲信ブロック支部長会議の会場では、東京校友会の歴史と現在を表すパネル、関東・甲信ブロック支部紹介パネルなど合計17枚のパネルと、同志社東京ニュース・東京ジャーナルのバックナンバーを全て揃えた複製版3セット、全ての春の集いガイドブック集、その他懐かしい品物を展示する「パネル展示」が始まりました。

2階「有明」では、昭和51年商学部卒業生でシンガーソングライター伊藤誠さんが出演。「有志コンサート第一部」が12時から始まり、伊藤さんのギター、それにバイオリンとピアノの3重奏による全6曲とアンコール曲に聴き入りました。

「有志コンサート第二部」は18時から同志社大学昭和50年卒プロミュージシャン・スペシャルと題し、水谷啓二さん（サツ

クス）、岸本一遙さん（バイオリン）、佐藤宣彦さん（ギター）、榎本任弘さん（ベース）の4名が、友情出演のピアノとドラムスを交えて全8曲とアンコール曲で盛り上がりました。

### 「全員集合イベント」

13時から、昨年に引き続き「メサイア演奏」で「全員集合イベント」が始まりました。指揮は同志社出身の若手指揮者永峰大輔さん、合唱には同志社混声合唱団（東京）、頌啓会合唱団、東京クローバークラブ、リリダークランツ（LILY）に個人応募を加えた53名、合奏には東京アンサンブルの弦楽器と管楽器の奏者を合わせて39名、合計92名による全5曲の演奏、「ハレルヤ」と「アーメン」コーラスに、しばし拍手が鳴り止みませんでした。

東京クローバークラブによる「カレッジソング」のあとに、



メサイア演奏 指揮は永峰大輔さん（1999年法学部卒、同志社交響楽団OB）

神学部原誠教授の「開会祈祷」があり、全員で讃美歌312番「いつくしみ深き」を斉唱。

開会宣言では阪口章夫実行委員長が、冒頭、大勢のオール同志社の皆様にお集まり頂いた御礼、広告・献品で会を支えて頂いた企業・団体・個人の皆様への御礼を伝えました。

そして「120周年の節目の年の当番年次に当たってしまつた幸運とその責任感を強く感



特別講演会「私の同志社と未来」佐藤優さん



来賓の皆様による鏡開き

小休憩の間に「パネル展示」2階「有明」の席開放、同志社クッキー、ラグビーネクタイ、同志社グルメ本

長に就任した東京校友会の児玉会長への期待の言葉も述べられました。その後、東京クローバークラブによる「同志社大学歌」で式典を締め括っていただき、来賓の紹介を行いました。

続く「同志社大学ビジョン2025を語る」は、最初に中央スクリーンに約5分間の動画上映の後、同志社大学松岡敬学長にご登壇いただき、予め配布されたパンフレットに沿って概要説明をしていただきました。

ここで、東京校友会児玉会長から松岡学長に「120周年記念事業 同志社東京校友会奨学金 目録贈呈」が行われました。特別講演会は、元外務省主任分析官で、作家・神学部客員教授の佐藤優さんに「私の同志社と未来」と題して、大学とその後の人生で得たものや、多量にして深い知見から見える世界のこともお話いただき、あっという間に60分間が過ぎました。

大懇親会は月桂冠様ご提供の樽酒菰巻の鏡開き、新たに学校法人同志社総長・理事長に就任された八田英二様のご挨拶と乾杯のご発声に引き続き、東京アンサンブルの演奏、会食、募金（19万円）、企業様からの献品による抽選会などで和やかな時間となりました。

今年の実行委員の挨拶、来年の実行委員長のご紹介と挨拶で開きに。皆様、ご参加ありがとうございました。

残念ながら同立戦前夜祭が雨天順延となり、現役応援団とチアリーダー部の皆様の参加は叶いませんでしたが、応援団OBによる演舞で大懇親会を締め括り、終宴へ。

新島は熱い思いを持って日本を脱国。そして1874年にアメリカのパームド州グレイス教会で、「多くの子供たちが学ぶことも知らない母国にキリスト教主義の学校を作りたい。そのためには皆様のご協力が必要です」と涙ながらに訴えました。

現地の人々にとっては想像もつかない遠い国の話。しかし、新島の真剣な訴えに心を動かされました。老農夫が皺くちゃの2ドルを差出し「これは私のお金のすべてです。あなたの夢を実現するためにお使い下さい」と募金してくれました。その2ド

ルは農夫の帰りの汽車賃で、農夫は夜通し歩き続けたのです。でも、足は重くても、心は晴れやかだったと思います。この2ドルから私たち同志社の歴史が始まりました。（動画より）



企業様からの献品による抽選会  
プレゼンターは女優の小川夏果さん(法学部卒)



学長アピール  
ビジョン2025を語る  
同志社大学

同志社大学 学長 松岡 敬

2025年の創立150周年に向けたビジョンを松岡学長に熱く語っていただきました。

\*

新島は熱い思いを持って日本を脱国。そして1874年にアメリカのパームド州グレイス教会で、「多くの子供たちが学ぶことも知らない母国にキリスト教主義の学校を作りたい。そのためには皆様のご協力が必要です」と涙ながらに訴えました。現地の人々にとっては想像もつかない遠い国の話。しかし、新島の真剣な訴えに心を動かされました。老農夫が皺くちゃの2ドルを差出し「これは私のお金のすべてです。あなたの夢を実現するためにお使い下さい」と募金してくれました。その2ド

ルは農夫の帰りの汽車賃で、農夫は夜通し歩き続けたのです。でも、足は重くても、心は晴れやかだったと思います。この2ドルから私たち同志社の歴史が始まりました。（動画より）

一人の勇氣、一人の一歩から始まった大きな未来への潮流、先の見えない現代の私たちにも、きっと、世界は動かせるはずだ。『ビジョン2025』の実現には「ALL DOSH I S H A」が必要です。学生・教員・職員だけでなく、同じキャンパスで過ごされた皆さま、日頃からお世話になっている校友の皆様と共に理想のビジョンを描き、実現させていく、そのためのご協力をお願いします。

同志社の教育は今も高く評価されていますが、これからも同志社の強みである「良心教育」をしっかりと行い、良心に基づいて判断し行動できる人物を社会に送り出していきます。皆さんと共に大きなビジョンを描き、舵を自らの手で2025年に向けて「ALL DOSH I S H A」の船出をしましょう。

文責／作村満明(77年・法)

## 春の集い 講演レポート

# 私の同志社と未来

作家・元外務省主任分析官  
同志社大学神学部客員教授

(85年同志社大学院神学研究科修了)

佐藤 優さん

### 神学部に入學

1979年2月、雪の降る寒い日にクラーク記念館で神学部の入学試験を受けました。

「他の大学に受かって、ぜひうちに来なさい。きっと面白い人生になると思います」と言われて入学した同志社大学。

面接後に部屋を出ようとすると、面接官の先生がその声を掛



けてくれました。確かに、同志社に学んだお陰で、生涯の友と師と仰ぐ先生に出会うことができました。

同志社での勉強は今でも、本当に役に立っています。

### 卒業後は外務省へ

大学卒業後に外務省に入省できたのも実は同志社のお陰です。外務省の筆記試験で3問中の1問が大学の期末試験に出た問題と全く同じで、しかも配点が50点もありました。

外務省では、研修期間の9時から夕方5時まで語学を叩き込まれます。10ヶ月で東京外大の3年生のレベルまでにし、それからイギリスに1年間、ロシアに1年間留学させる。ここには、第一次世界大戦後のベルサイユ条約に日本が参加したものの言葉が分からず、権益がとれなかった反省から語学力重視に

### 外交官として活躍

なった、という経緯があります。

外交官としては、主にロシアを担当し、「民族問題でソ連崩壊は確実」と第一報を打ちました。それから、皆さんがご存じのように、鈴木宗男議員との関係で逮捕され東京拘置所に512日間拘束されました。高校時代の友達か蜘蛛の子を散らすように居なくなる中、同志社神学部の先輩、瀧田敏幸氏が中心になり、逮捕されたその夜に、同志社時代の先輩・後輩で支援組織を作ってくれました。そして、出所後、作家生活が軌道にのり順調になると、もう大丈夫だろうとほっておいてくれます。反対に高校時代の友は戻ってくる。このあたりに、ネットワークは大切にしますが、変にベタベタしない同志社の良さがあると思います。

### 神学部の客員教授として

3年前から、同志社の客員教授をやることになりました。同志社の素晴らしさは関西にあることで、これが校風を大切にすることに繋がっている。また、大学で勉強したことがちゃんと生きている学校です。語学や数学の勉強も高校生レベルの基礎から教え、プログラムを組んでやれば、後は量の問題で資格試験も採用試験も合格できます。

実は同志社の仕事より作家活動等を優先したく、松岡学長に相談に行つたのですが、逆に、新島先生のスピリッツを21世紀に蘇らせる「ビジョン2025」にすっかり洗脳されてしまいました。今日のこの集いも天国の新島先生が見ていらつしやいます。

同志社は皆様のよう、これだけ沢山の社会に役立つ人材を出して来ましたが、これを更に推し進め発展させていくために、私も微力ではありますができるだけのことをしたいと思っております。同志社のために、後輩のために、校友会のために、皆様もよろしく願います。

文責／作村満明(77年・法)

家族葬から社葬・お別れの会まで、  
信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。

公益社

KOEKISHA

株式会社 公益社 ネットワーク 東京・横浜・大阪・兵庫・奈良  
東証一部上場 燦ホールディングスグループ  
東京・神奈川に10会館 大阪・兵庫・奈良に29会館

まずはお電話を。公益社 ご葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ  
☎0120-347-556

https://www.koekisha.co.jp 通話料無料・携帯電話可

### 首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

- ◆東京本社(港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)
- 公益社 用賀会館 ●公益社 田園調布会館
- 公益社 高円寺会館 ●公益社 雪谷会館
- 公益社 明大前会館 ●公益社 高輪会館
- 公益社 仙川会館 ●公益社会館 たまプラーザ
- 公益社 喜多見会館 ●公益社 日吉会館
- (2016年9月オープン)
- 青山ご葬儀相談室 ■鶴見営業所

※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になります。

対応地域 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)  
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

燦ホールディングス(株)  
株式会社

はりしまさのぶ  
社友 播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業)

燦ホールディングス(株)  
株式会社

おがわよしひで  
顧問 小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)



有志コンサート出演者を囲んで

120周年を記念した今回の「春の集い」では、特別企画としてメイン会場とは別に会場が設けられ、講演会の前に第一部、懇親会の後に第二部という構成で有志によるコンサートを開催。

第一部では、伊藤誠さん（昭和51年・商卒）が、オリジナル曲を7曲熱唱。伊藤さんは第一勧銀（現みずほ銀行）に就職し、先輩の小椋佳氏と同じように、銀行マンと歌手を両立、平成24年からは独立し音楽活動に専念しています。テレビ番組「賢者

**春の集い**  
**有志コンサート**

**コンサート会場でも**  
**大盛り上がり！**

の選択」のエンディングテーマ曲「君の風になろう」も伊藤さんの作詞・作曲です。

フォーク調の曲に甘い歌声のせ、三年坂や時代祭りなど青春時代の京都の街並みを思い出すような歌詞もあって、同志社卒業生には懐かしいものでした。

第二部は、昭和50年卒業のプロミュージシャン4人を中心にしたスペシャルバンド。「ダシニングオールナイト」の作詞で有名なサックスの水谷啓二さん（法卒）、バイオリンの岸谷一遙さん（経卒）、ギターの佐藤宣彦さん（法卒）、ベースの榎本任弘さん（商卒）にピアノとドラムスの編成で、オリジナル曲、アイリッシュな曲、ちあきなおみに提供した曲などバラエティ豊かな5曲。アンコールの曲は替え歌「同志社オンマイマインド」で演奏も会場もさらに盛り上がりました。

文責／作村満明（77年・法）

**「春の集い」を振り返って**

実行委員長  
阪口章夫（73年・商）

「2017同志社東京春の集い」は、校友の皆様の熱いご支援とご協力により、東京校友会発足120周年記念祭として、多くの記念イベントを式次第に加え、盛大且つ無事に終えることができました。

当日は本当に大勢のオール同志社の皆様にお集まりいただきました。改めまして、心より厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

今年度は「春の集い」実行委員長を拝命しました昭和49年工学部卒、若林英博でございます。

2018年「春の集い」  
実行委員長の抱負  
実行委員長  
若林英博（74年・工）

今年度は「春の集い」実行委員長を拝命しました昭和49年工学部卒、若林英博でございます。来年は昭和49年、昭和59年、平成6年卒が担当致します。

今年の集いは過去最高の出席者がありまして、会場は熱気で溢れていました。これは担当の

ございました。

東京校友会の常任幹事会の皆様には120周年記念事業として大きなお力添えをいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが、広告・献品にご協力をいただき、「春の集い」を支えていただきました企業・団体・個人の皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。



新旧実行委員長が笑顔で握手

阪口実行委員長始め各実行委員の方々の労力を惜しまない愛校精神の賜と心より敬意を表するものです。我々は諸先輩が築き上げてこられた伝統を大事にして、誇りを持って同志社らしい和気藹々の集いにしていこうと思っております。まだ何も決まっています。まずは担当学年が力をもつにしていけるような体制作りが肝要かと存じます。

一年は長いようで、あっという間に来てしまうものです。皆様方のお知恵をいただきながら校友会のスタッフの方々と共に協力して知恵を絞り企画して参ります。健康にご留意され、来年もぜひお出まし下さいますようお願い致します。

hidehiro@wakabayashi.co.jp

新総長・  
理事長からの  
メッセージ

## フロントライン 同志社に向けて

学校法人同志社 総長・理事長 八田英二

2017年4月1日に第18代  
総長に就任された八田英二総長  
からメッセージをいただきました。  
八田総長は、4月22日から  
は理事長も兼任されています。

\*

東京校友会の皆様におかれま  
しては、ますますご清栄のこと  
と心からお慶び申し上げます。  
また「東京ジャーナル」を通し  
ての校友への変わらぬ情報発信  
に対し、深く敬意を表します。  
活動に従事いただいている児玉  
支部長はじめ、役員の皆様、会  
員の皆様のご尽力にも厚くお礼  
申し上げます。

現在、学校法人同志社は、同  
志社大学、同志社女子大学、4  
つの高等学校・中学校、小学校、  
国際学院、幼稚園を擁する総合  
学園となりました。

このような中で、総長及び理  
事長を拝命した私の役目は、キ  
リスト教主義を礎とした「良心  
教育」を同志社の隅々に活かす  
こと、建学の精神及び教育の理



念の下、社会の諸課題を解決す  
る英知を集め、良心を育み、最  
先端と第一線、そしてあらゆる  
フロントラインで活躍する同志  
社を確立していくことだと考え  
ております。また「同志社大学  
ビジョン2025」などを実現  
するためには、安定した学園経  
営の基盤となる財政の安定化も  
急務であります。

これらを遂行するためには、  
校友、学生・生徒・児童、教職  
員等の思いを直にお聞きすると  
ともに、これまでの経験を活か  
して果敢に取組みを実施してい  
く所存であり、今後も皆様のご  
支援助とご協力をお願いいたしま  
す。最後になりますが、今後も  
東京校友会の皆様のご健康とご  
多幸をお祈り申し上げます。

### トピックス

## 同窓会東京支部が 120周年総会開催

4月22日(土) 11時半より、

同志社同窓会東京支部の「120  
周年」総会・懇親会がホテル  
ニューオータニのシリウスの間に  
て開催され、来賓も含め120  
名以上の参加で、会場は大盛況。  
まず、加藤聖子支部長から感謝  
の挨拶があり、総会では昨年度  
の行事・事業報告、決算報告に  
続き今年度の事業計画が発表さ  
れ、すべて承認されました。

その後、同窓生には懐かしい  
「同志社花の歌」を乙女の時代  
に戻って歌い、来賓の皆様をお  
迎え。来賓には同窓会坂本副会



加藤聖子支部長の挨拶



日本国連協会伊勢桃代理事の講演会

長他、大勢の皆様が来られてい  
ました。懇親会の司会はテレビ  
でお馴染みの小倉智明さん。ま  
た食事の際、加藤支部長から、  
記念事業として永年の夢だっ  
た「同窓会東京支部昭和会」の  
発足も報告されました。講演会  
は日本国連協会伊勢桃代理事の  
「二十一世紀に向かって、人ひ  
とりは大切」。新島先生のお言  
葉からの題でした。同志社大学  
フラダンスの会「カプアモハラ」  
の踊りや大抽選会もあり、楽し  
くも賑な雰囲気の中でお開きと  
なりました。

文責／作村満明(77年・法)

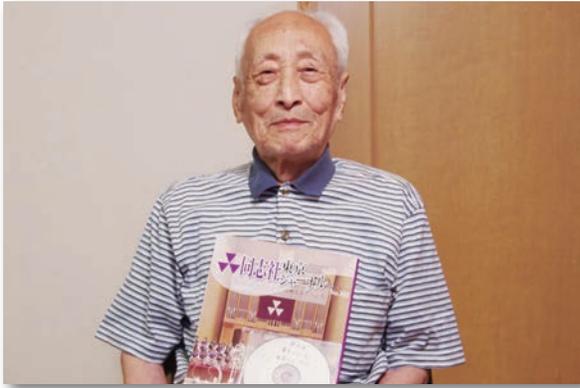
DAIKIN

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違えば、  
ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。



ダイキン工業株式会社



東京ジャーナルとアーカイブCDを手に、西村四郎名誉顧問(92歳)

## 連載 東京校友会はじめて物語(4) はじめての会費徴収 ・通信費制度の創設

～西村四郎名誉顧問(元東京支部長)へのインタビューから～  
手弁当で行われていた校友会活動。まだ、「同志社校友会  
東京支部」だった20年以上前の話です。

### 善意とボランティアの時代

校友会東京支部の活動は、1990年代まで、善意ある方々のポケットマネーで賄われていました。校友会行事の告知や活動報告を行うために、1990年2月から年に4回の会報「東京ニュース」の発行を始められたのが、初代編集長の西村四郎名誉顧問(48年・経)でした。

創刊当時は銀座四丁目に事務所があったので、三越や松屋に6時を過ぎて半額になった弁当を買に行き、編集会議に集まってくれる若い編集委員に食べさせて、会議後の懇親会には銀座へ繰り出すのですが、勘定は主に西村さん。若い編集委員は弁当と酒に釣られてよく活動してくれたそうです。「東京ニュース」は企業の広告を載せていましたので、発行の経費は何とかなったのですが、編集委員の飲み食いは代は編集長の西村さんが多目に出していたそうです。

西村さんは当時は振り返り、「俺は酒飲めへんさかい、他にも使わへんから、多目に払いよった。俺、金持ちやったんや(笑)。会社(サクラクレパス)が儲かっていたんや。毎回、会

議のたびに一万円が出ていくんや」と豪快に笑われました。

東京支部の活動を始める時にお兄さんに相談したら「そんなもんの手をだしたら、金がかかると。やるなら、その覚悟でやれよ」と言われていたそうです。覚悟だけはしていたそうです。

当時、東京支部には、安定した財政基盤がなかったため、このように、校友の善意とボランティアによって活動が維持されてきたのです。

### 通信費制度の創設

しかし、関東地区在住の校友が年々増加して、一人人を超える状況になってきました。

1996年5月より、財政委員会で財政基盤の確立について協議をし、1997年3月には通信委員会を新設して協議してきました。この結果、「今後も東京支部の活動を円滑・健全に運営していくためには、多くの校友に広く・浅く・公平に費用を負担してもらわなければならない」との結論に至りました。

この件は、評議員会の了承を得て、後に「通信及び運営・連絡協力費」(略称・通信費)制度となりました。反対はなかつ

たのかと西村さんにお尋ねすると「そんなもん、みんな、ズーッと俺が自腹切っているの見ているさかい、誰からも反対はなかった。あるわけないやろ。校友会は何にもしなかったら金はいらんけど、何かしようと思うたら、金はあるで。俺は早うから会費は集めなあかんとやうとったんや」とのことでした。

通信費は年間2500円で1997年秋よりスタートしました(現在は年会費となり、3000円)。申し込みについては所定の用紙に必要事項を記入すれば、クレジットカードで自動的に引き落とされるようにしたので、比較的問題もなくスムーズに集金できたそうです。

この通信費の新設によって、東京支部行事の開催通知、並びに「東京ニュース」の制作・発送費を賄うとともに、事務局の強化が可能となり、東京支部の基礎ができました。手弁当やポケットマネー、寄付など、先輩の善意頼りの団体から、校友一人ひとりの力で発展していく団体へと生まれ変わったのでした。

新田博伸(77年・法)  
文責/作村満明(77年・法)

答えを探し続ける、という答え。

A D A S T R I A

GLOBAL WORK LOWRYS FARM LEPSIM niko and... studio CLIP JEANASIS Andemiu apart by lowrYS BAYFLOW  
BARNYARDSTORM Heather HARE RAGEBLUE BLISS POINT repipi armario BABYLONE ME%

連載  
企画

# 片桐家同志社五代記

その二十一

文／片桐 陽(67年・工)

今回は、母親美智のことを少し記しておきたい。

美智は、軍人だった竹田久太郎、キクの四女として大正9年8月に東京で生まれる。

当時美智の父久太郎は、近衛連隊の陸軍少佐で、官様の秘書官だった。そのまま軍に残っていたらそれなりの地位も得られたのだろうが、元々丹波の庄屋の長男だったので生活には困らなかったようで、昭和の軍縮もあり予備役となり京都に戻った。

そこで一家は京都に引っ越し、加茂川沿いの鞍馬口御霊神社の近くに住まいを構えた。美智は、同志社女子部宣教師のデントン女史が下鴨の地に創立したマクリン幼稚園に入園する。その後、美智は同志社女子中学、高校、続いて同志社女子専門学校に入学する。

美智がいつキリスト教の洗礼を受けたのか定かではないが、マクリン幼稚園、中学からずっと同志社に学んだことがきっかけだったことだろう。また、姉(長女)千鶴も同志社女子専門学校に学びクリスチャンになった

ことも大きく影響したと思う。

女子専門学校卒業翌年に私の父親の昌と結婚する。昌の大叔父に当る高橋守と美智の父竹田久太郎が軍人仲間であったことが二人の結婚に結びついたようだ。

結婚式は京都の河原町五条にあった聖公会五条教会の聖ヨハネ教会堂で行われたが、この教会堂は現在愛知県犬山市の明治村に移転され、重要文化財として現存している。

結婚後、すぐ昌の赴任先の中国に渡ったが、翌年の昭和20年4月に私(陽)を江西省九江で出産する。しかし、8月には終戦を迎え敗戦国の一員として21年の5月に京都に引き揚げて来る。私はいつも思うのだが、あの時代よくぞ乳飲み子を無事に日本に連れて帰ってくれたもの

と両親の愛情に感謝している。母親としての美智は、本当に優しく、子供達のために一生懸命だった。料理が得意で、いつも美味しい食事を作ってくれたことを今でも懐かしく思い出す。

父、私、弟と男3人の食欲はもの凄く、いつも沢山の料理を食べさせてもらったが、オーブンで作ってくれたマカロニグラタンが特に美味かった。

また音楽も好きで、私は小学校二年生からヴァイオリンを習わされたが、決して裕福でない中、高価な楽器を買い与えてくれたと感謝の気持ちで一杯になる。それと、子供の頃から教会学校に行かせてくれたことが、今の私や弟の生活のベースになったことも母親に感謝せずにはいられない。ヴァイオリンで音感を養い、教会学校で讃美歌を歌う日々はその後変わらなず、同志社中学に入学後もホザナコーラスと言う聖歌隊に入部、結局大学まで続くことになる。

美智は、学生時代の友人達とは卒業後もずっと家族同士の付き合いが続いたが、このような良き友人達が出来たのも、同志社の良心教育の賜物と言えるのではないだろうか。



私の家族(左から弟・母・父・私)

連載  
コラム

## 今出川四季



北濃 登美男(66年・法)

### ワンダーフォーゲル部の想い出

大学に入ったら何かクラブに入って学生生活をエンジョイしたいと思っていました。オリエンテーションの時に高校時代の知人にたまたま明徳館前で出会い、その彼からリクルートされ、ワンダーフォーゲル部の説明会に参加、日本全国旅行が出来そう、で即入部しました。

ワンゲルでの初めての山行は伯耆大山での第一次新人錬成でした。登山靴は姉のキャラバンシューズを借りて行きましたが、両足かかとに血豆が出来、バテバテで散々な山行でした。その時は山を見ると憂鬱になり、即退部を考えましたが、同僚の励ましで乗り越え継続しました。トレニングの思い出は御所です。ランニングが主で、外御所一周4キロを何周か、合宿前は御所から宝ヶ池、大文字山まで遠出しました。また、大学時代は一年の内、約120日は山行その帰りの旅行。当時は大阪天六の実家から1時間半の通学でしたので、夜遅くなると、友人の下宿に泊まる事が多く、実家には三分の一も帰らなかつたという生活でした。山は後日、深田久弥の日本百名山の本を読み、

自分の登った山を数えると、学生時代に45制覇しておりました。その流れで百名山、次に二百名山、そして三百名山踏破に繋がりました。

また、合宿の帰りにその地方を旅行する楽しみも大きかったです。特に当時流行っていたヒッチハイクを良くやりました。東は九州長崎から、北は青森から、四国一周、北海道一周もヒッチハイクでした。宿は同志社の強みを生かして、キリスト教会、寺院、学校、幼稚園等に一夜の宿を依頼する、これもまた楽しみの一つでした。シュラフ(寝袋)、炊事用具は一式ザックに背負っていましたが、これながら旅をしました。



八ヶ岳にて(4年生当時)

# 三田会に負けない「同志社の絆」

## 校友 訪問

株式会社帝国ホテルエンタープライズ 代表取締役社長  
大脇善夫さん 1980年(昭和55年)文学部卒業

1957年生まれ 京都市出身 同志社中・高を経て1980年3月に文学部社会学科産業関係学専攻を卒業し帝国ホテル入社。1999年、帝国ホテル大阪の業務推進部長、以降、同ホテルの総支配人室長、宿泊料飲部長を歴任、2007年に帝国ホテル事業開発部長と帝国ホテルのグループ会社である帝国ホテルエンタープライズ取締役を兼任。2016年より現職。



「同志社の絆」を実感していると語る大脇社長

ひよっとしたら京都の着物業界の旗手になっていたかも知れない人材が、新島精神とラグビー魂を両輪にして、「同志社の絆」を実感しながら、日本を代表するホテルの中で磨かれて、大きく成長していく物語…、その一端を今回はご紹介。

### 帝国ホテルに泊まれるような

我が家は代々、下京で染め物をなりわいとしておりました。この仕事、基本的に時代の流行、センスと共にあるわけで、父も、ほぼ毎週大阪の繁華街、キタとかミナミに出掛けて、街ゆく女性の着物をウォッチング。今風にいえば、流行のマーケティングでしようが、これにいつも私を連れて行きました。跡取り息子の「英才教育」だったんでしょう。

私が小学校に上がる頃、今度は東京へ行くぞという話。東京まで五、六時間かかった時代で、特急こだまに乗車。食堂車付きですが、食堂車利用には予約が必要で、座席にいと蝶ネクタイのボーイさんがオーダーを取りに来る。これが何ともかっこよかったです。で、その食堂車を運営していたのが、現在私が社長をしている帝国ホテルエンタープライズの前身だったんですね。

そして、東京での宿泊先が帝国ホテル。東京駅で「帝国ホテルへ」というとタクシートの運転手さんの態度が変わる。まさに日本を代表する特別なホテルという感じで、ロビーには外国人ばかり。このときの父の「おまえもこのホテルに泊まれるような人間にならなアカンで」という言葉が強烈に胸に刻まれました。

### 同志社の絆を実感しながら

同志社は中学から高校まで、ラグビーをやりながら「同志社生活」を満喫しました。そして、就職へ、ということですが、実家の方の着物業界には陰りが見えてきて、父は「おまえ、鮎屋やる

か」などと言いつつ、自営業のしんどさを知っている母は「絶対サラリーマンになって」と言います。そういうとき、たまたま就職部の求人ボードを見たら「帝国ホテル」の名前があった。子供の頃の「帝国ホテル体験」が鮮やかによみがえってきて、これは運命かな、と思ったんですね。

そうして、会社説明会や入社試験で何度も上京したんですが、それこそ「同志社の絆」とも言うべき先輩のお力もあったのでしよう、無事に入社することが出来ました。入社後は「帝国ホテルの掟」で、まずは現場での修業。調理場で実際に調理も体験しましたし、ベルボーイもベッドメイキングもやりました。

当時はフランス料理の巨匠・村上信夫総料理長や伝説の客室係竹谷年子さんといったホテル業界のカリスマが在職の中、帝国ホテルの人間としての基礎を徹底的に教えられたのでした。

入社三年目、英語が苦手な私に、なんと米国ウエルミントンのデュポンホテルに行けとの社命。英語を身に付けてこいというのと、ラグビー上がりやから頑丈

やるとの見込みのようで、この折も、同志社の先輩方に盛大に送り出していただきました。

現地では、何を考えたのかデュポンホテルが英会話の出来ない私に電話交換業務を指示。途方にくれましたが、フロント経由で回すという奇手珍手などで切り抜けながら、波瀾万丈の米国勤務を終了。このことが私に大いに勇気を与えてくれました。

帰国後は、広報担当が印象深い業務となりました。管轄の運輸省(現・国交省)との交渉を含め、自社だけでなくホテル業界全体の認知向上に貢献できたかな、と思っております。その後の帝国ホテル大阪在勤の折も、関西の先輩方に多大なご支援をいただきました。いわば、慶応・三田会にも勝る「同志社の絆」、まさに「ワンパス」を実感した次第です。2016年より現職、今年の六月で60歳の還暦となりましたが、今後も座右の銘である「やらないで後悔するより、やって反省した方がいい」の人生を歩んで行きたいと思っています。

文責/谷村和典(72年・文)

同志社スポーツ

第100回同志社・慶應義塾ラグビー定期戦

快走、快勝！ 55-40！

5月4日(みどりの日)、快晴の秩父宮ラグビー場に詰めかけた5,000人の観客が見守る中、第100回同志社・慶應義塾ラグビー定期戦が行われました。



WTB鶴田は4トライを挙げる大活躍！

松尾勝博ら往年の名選手が次々に現れ、大きな歓声が湧きました。本来ならその場に居た筈の平尾誠二さんのために全員で黙祷を捧げ、いよいよゲームが始まりました。両軍とも試合前に監督から「安全第一」との指示を受けていたと聞きましたが、キックオフと同時に文字通り激突、予想外の激しい当たりとボール争奪戦にスタンドから熱い声援が送られました。途中の選手交代では「壊し屋」こと林敏之

小学生対決は慶應の勝利

最初に登場したのは同志社小学校と慶應幼稚舎で学ぶ子供たち。各々の大学と同じジャージに身を固め、真摯にプレーする子供たちに惜しめない拍手が送られました。試合は一日の長のある慶應幼稚舎が30-15で快勝。

レジェンド対決は同志社に軍配

その子供たちの退場をハイタッチで迎えたレジェンドチームの面々が次に登場しました。レジェンドチームとは1985年(昭和60年)1月6日の大学選手権決勝を戦った両校のメンバーが中心。同志社からは東田哲也、土田雅人、大八木淳史、松尾勝博ら往年の名選手が次々に現れ、大きな歓声が湧きました。本来ならその場に居た筈の平尾誠二さんのために全員で黙



同志社小学校と慶應幼稚舎の小学生対決

が登場、大八木淳史との4番5番ロックコンビが久々に実現し、一層大きな歓声が湧きました。試合は先制トライを上げた同志社がリードを守って5-0で勝利、面目を保ちました。

シニアOB戦も同志社が勝利

その次に登場したのは「70代は黄色のパンツ、60代は赤色のパンツを着用」と指示されたシニアOBチームで、同志社は最年長76歳の宮地克実先輩を先頭に堂々の入場、緑の芝生に黄色や赤色のパンツが良く映え、一転賑やかなグラウンドとなりました。こちらも年齢を感じさせない激しい闘志のぶつかり合いとなりましたが、同志社が7-5で勝利、試合後は両軍入り混じり、和気藹々の記念写真撮影となりました。

若手OB戦は慶應が逃げ切る

OB戦を締めくくったのは昨シーズンまでトップリーグで活躍していた望月雄太や君島良夫ら若手OB中心のチーム。スピードと迫力のあるプレーの応酬にスタンドは大喜び、何度も大きな拍手と声援が湧きました。こちらは先制した慶應義塾を同志社が追う展開となりましたが、19-12で慶應義塾が勝利を収めました。

同志社大学が第100回を制す

そして、グラウンドには第100回定期戦を戦う大学生が入場、校歌斉唱の後、キックオフとなりました。

8-8で迎えた前半10分、同志社はハイタックルの反則でシンピンを取られ、14名で戦うこととなります。その直後、慶應義塾が強固なモールで前進してトライ、しかし15分には同志社がペナルティからBKに素早く展開し、一気に慶應義塾ゴール前に迫り、トライを奪い返します。再び同点。その後も両軍トライを重ね、前半を26-26で終



シニアOB戦に出場した両チームの選手

えますが、同志社FWのセットプレーでの健闘が光りました。後半に入ってもトライの奪い合いとなりますが、3分、24分、26分に同志社が奪ったトライはCTB永富、FB安田、WTB鶴田のセンスと走力が見事に噛み合って実現したもので、安定した球さえ供給すれば、必ずゲインしてくれる頼もしいBK陣であることを証明したように思います。特に、男子セブンス日本代表選手である鶴田選手の快走には胸のすく思いがしました。最終的には同志社が55-40で第100回の定期戦を勝利で飾ることができました。皆さまの声援に心より感謝申し上げます。

文責/ラグビー部OB  
出石賢司(78年・経)

同志社ファッション倶楽部 講演会

企画会社CCCが目指す生活提案の未来

講師 カルチュア・コンビニエンス・クラブ代表取締役社長 増田宗昭さん

増田宗昭さん

同志社ファッション倶楽部 (DFC) の第3回公開講演会は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ (CCC) の増田宗昭社長をお迎えし、3月22日 (水) 18時より同志社東京サテライト・キャンパスで開催した。増田氏のキャリアは、1973年の卒業後、当時躍進中のファッション専門店鈴屋入社から。

10年後、増田氏は表現する原点としての蔦屋書店を枚方市に創業、その2年後にCCC株式会社を設立。日本が一気に経済成長を加速して行く前夜であった。そのビジョンが凄い。「世界一の企画会社」だ。変化する時代に対応して「新しいカルチュア・インフラをつくって、生活提案の場」とする事業なのだ。あの時代にこんなことを考えていた人は凄い！

増田氏は、時代のニーズを見据えながら、本・音楽・映像などを店舗、オンライン、カードサービスをなどの事業領域に拡大。Tカードの発行は6千万枚を超え、最大の書店となり、音



増田宗昭さん(1973年・経済学部卒)

楽・映画でも圧倒的なシェアを誇る。

また並行して、2011年以降「代官山T・SITE」「武雄市図書館」「枚方T・SITE」「GINZA SIX」の「銀座蔦屋」などをオープン。次々に新しいライフスタイル提案の場を創造してきた。

そして次はビッグデータやAIを駆使した社会に挑もうとしているかに見える。

超満員の受講者を相手に、Q&Aも含め1時間20分に及ぶ熱弁の後、85人が参集した懇親会でも名刺交換、質問攻めにお応えくださり、我が校友のためにそのエネルギーを注いでいたのだ一日であったと思う。

文責／猶原明人(74年・商)

「洛紫会」講演会

ガイアックス 代表執行役社長 上田祐司さん

シェアリングエコノミーの現在と未来

5月26日(金)に、本年度の第一回洛紫会が開催されました。株式会社ガイアックス代表執行役社長、一般社団法人シェアリングエコノミー協会代表理事の上田祐司さん(97年・経卒)に「シェアリングエコノミーの現在と未来」というタイトルで講演いただき、42名が参加しました。

講演では、シェアリングエコノミーが遊休資産を効率的にマッチングさせて短期間で大きな経済効果を生じさせるという特徴について、具体的な数字も

盛り込みながら、大変分かりやすい説明が加えられました。

この経済的なインパクトに圧倒される間もなく、資源の有効活用により過剰な消費や所有を抑制させ、持続可能な社会を目指すという将来像も示されました。

参加者それぞれが、現在の資本主義と対比しながら、この将来像について真剣に考察を加えていました。更には、昨年4月の熊本地震での「キャンピングカーの無償提供」の紹介があり、被災時に遊休のリソースを活用することに共助の仕組みを作り上げることの重要性についても熱く語られました。

講演後には、積極的な質疑応答が繰り広げられ、非常に白熱した会となりました。

講演後には、積極的な質疑応答が繰り広げられ、非常に白熱した会となりました。その後の懇親会でも、講演の興奮冷めやらぬ状況で同志社校友の交流を深め合い、今年一番のプレミアムフライデーとなりました。

文責／吉田太郎(01年・法)



シェアリングエコノミーについて語る上田祐司さん

**IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!**

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早く  
EARLY

広く  
BROAD

深く  
DEEP

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供  
 広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う  
 深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制

**明光電子 株式会社**

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル  
 FAX: 045-471-2377  
 E-mail: info@meicodenshi.com

**045-471-2223**

明光電子 | 検索

代表取締役 **十川 正明**  
 (昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)

「神田祭」レポート

5月11日(木) 16時から、日本三大祭の一つ「神田祭」が新島襄生誕の地、神田錦町で始まりました。いつもお世話になっている町会の神輿御神霊入れ(みこしおみたまいれ)に、東京校友会児玉会長・横山代表幹事、他4名で参加しました。



お神酒所の御飯屋(おかりや)

前に揃いの半纏に身を包み、子町会の人々が参列する中、神田明神の神職により御神霊入れが厳粛に執り行われました。その後は江戸っ子らしい粋でいなせな「木遣り唄」と「一本締め」と振舞いがありました。これにより、初めて神輿に御神霊が遷り、各町会は「神田祭」一色になるのです。

文責/作村満明(77年法)

お詫びと訂正

2017春の集いガイドブックの支部長ご挨拶の中で山梨県支部長様の原稿を誤掲載致しました。正規のご挨拶原稿は左記の通りです。

\*

2012年に支部組織がないのは山梨県のみと知った時には驚きました。その後支部設立の準備を進め、2012年11月に

山梨県支部が発足し、大谷総長はじめ多くの来賓の方のご出席のもと設立総会が開催されました。会員数は約50名でした。このように敏速な設立は、東京校友会の山崎晃司幹事や役員の方々のご尽力とご援助のお蔭であり、本当に感謝しております。現在会員数は約90名になり、最近女子大学同窓会とも共に協働して活動し、幅広い会員が親しく交流できる場を提供し、きめ細かい動きを行っています。総会の他に年3回の集い、また随時の趣味の会などを開いています。最近では紛争が絶えず自分中心と金中心の風潮が見受けられる世の中ですが、良心と徳育

の満ちた同志社教育は大いに重要と思われまます。より多くの山梨の若者たちが同志社へ進学するように支部としても努力したいと思っております。

支部長 櫻井 彪

\*

櫻井支部長様並びに関係各位に謹んでお詫び申し上げますと共に訂正いたします。

また、協賛サークルの広告の45ページ中段の株式会社善衛商事代表取締役のお名前「土肥健一」は「土肥研一」様の誤りでした。謹んでお詫び申し上げますと共に訂正いたします。

(発行人 児玉正之)

い致します。

文責/新田博伸(77年法)



DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2017 July. NO.108 同志社東京校友会  
〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-22-7 大平ビル6階  
電話: 03-5579-9728  
FAX: 03-5579-9729  
発行人/児玉正之  
編集人/新田博伸  
印刷/株式会社スバルグラフィック  
<http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp>  
mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ  
ログイン情報

ID=doshisha  
PASS=1875

すみれ亭 昭和38年会俳句会  
紅葉狩り石段ごとに老いにけり

打越 信貴

「雪・月・花・紅葉・ほととぎす」の、いわゆる伝統的な五個の景物が美しい。伝統的な類型化をしやすいのであるが、氏の発想は個性的でしかも現代的である点が素晴らしい。時代がかわり、幾年経っても人間の老いのみは変わるこ

(選評・あかき倦鳥)

編集後記

役員のご改選に伴い、今号から東京ジャーナル編集委員会では、新しい編集委員4名が就任しました。

- ①青木重之 (1978年・経)
  - ②仁藤正平 (1978年・商)
  - ③岩崎英夫 (1983年・法)
  - ④用品知美 (2015年・文)
- 皆様には、取材等でお世話になります。どうぞよろしくお願

通販化粧品・健康食品  
18年連続売上  
**No.1**  
2000年1月1日～2017年1月1日  
日本流通産業新聞 通販・通教・EC売上高ランキング

**DHC**

<http://www.dhc.co.jp> CR17-04(HK)

史上初! 独自研究開発成分  
**DHC スーパーコラーゲン**

化粧品の可能性をつぎつぎと切り拓くDHCは、このたび史上初<sup>※1</sup>の「DHCスーパーコラーゲン<sup>※2</sup>」を発明いたしました。この新成分は、従来のコラーゲン<sup>※3</sup>より約1/2～1/10も分子が小さく<sup>※4</sup>、史上最高<sup>※1</sup>の浸透力を示す新世代コラーゲン<sup>※2</sup>です。そして、この画期的な成分を配合した美容液も誕生させました。これからも、日本最大級の通販化粧品・健康食品企業として、お客様が美しく輝く毎日を応援いたします。

※1 DHC史上 ※2 シベプチド-8(コラーゲンペプチド) ※3 加水分解コラーゲン(コラーゲンペプチド) ※4 DHC調べ

株式会社DHC  
〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)

